



プレミアムクラス（5）

協力者を探そう ～行動を起こす前に～

1 プレミアムクラス大相談会

今回は、「協力者を見つけよう」と銘打った回。

受講生は、吉弘主任講師と1人10分の面談を行い、プロジェクトの進捗確認や、行き詰まりへのアドバイスを実施します。

その他の時間は、教室を「グループ学習室」と「個人学習室」に分け、他の受講生とのコミュニケーションや、資料を使った学習で、自分のプロジェクトを深めていく時間としました。

吉弘講師との面談では、講師から受講生へ以下の3点が質問されました。

- 1 自分のプロジェクトで一番のウリは〇〇
- 2 〇〇をやる上で一番の悩み
- 3 こんなこと聞いてみたい！（なんでも相談）

これまでの授業を通し、各受講生が考えてきたプロジェクト。

印象的だったのは、「（自分も含め）誰もが【居場所】を求めている」という認識に至った受講生が多かったこと。



面談では、1人10分間の持ち時間を有効に使うため

3点の質問に沿い、話題が展開されました。



グループ学習室では、受講生同士で、

「どうやる?」「いつやる?」の会話が弾みます。



個人学習室には、各受講生のプランに関係した

資料を配置。本から得られる視点もありますよね。

みんなの【居場所】を地域で実現するための手段として、受講生それぞれがプロジェクトを考えているような印象を受けました。切り口は違っていても、みんなが似たような気持ちになっているのは不思議ですね。

また、面談の中で「プレミアムクラスは、熱量の高い、同じ方向を向いている人たちと意見交換ができて良い」という声も聞かれました。

これまでの授業で、同じ空間で考え悩みを共有してきた受講生たちは、やりたいことは別々でも、刺激し合える関係が築かれているようです。

2 ヒントはそこかしこに

グループ学習室では、受講生同士が盛んに意見交換をする中で、自然と仲間になっている様子が伺えました。また個人学習室では、資料やPCを使用し、じっくりと自分の考えを深める受講生も。

他の受講生との会話や、偶然見つけた資料の中など、自分が今抱える悩みに対するヒントは、アンテナさえ張っていればどこにでも隠れています。

どんなヒントに出会えたかはわからないけれど、今日ここに来たからこそ出会えたものが、どの受講生にもあったはずです。これも、第1回の授業で話されていた「計画された偶然性」かもしれませんね。

▶ 次回 第6回「『挑戦者』になるための心得」

※各受講生が5分間で、自分のプロジェクトや自分にできることを発表。